

小さな希望

2009年10月

徳島 → 西宮 日帰りの旅

Kさんは半年以上、一步も家から出ていない。なぜなら、エレベーターのない4階に住んでいるから。

外出できないという現実。心の中に、先だっただの妹の納骨式がまだできていないという違和感。そして葛藤。

ある日、しゃらく旅倶楽部の噂を聞いた。なんとかしてくれるかもしれない。小さな小さな希望だけど、半ばあきらめていた外出を一本の電話に託し、番号を押した。

電話をいただいた私たちは、ケアマネジャーさんに連絡、事前に情報収集をしたあとで自宅に向かった。

5年ほど前、脳梗塞で倒れてから外出という外出はしていない。日々のリハビリの努力の成果も試すことなく、月日が流れている事を感じる。

1階から4階、4階から1階への階段は簡単ではない。私たちは何度か足を運び、現地(徳島)のボランティア協会やNPO法人等を

訪問、階段の昇降介助の依頼を行った。旅の当日だけでなく、それ以外の日にも、とお願いした。旅をきっかけに、外出したい時に外出できる環境を作ることも大事な事だと考えるからだ。

なんとか手配が完了し、Kさんにお話をした時、あきらめていた旅行が「希望」から「目標」に変わった。

当日の納骨式、いつもより念入りに髭をそり出発。徳島を出るのも久しぶり、車での移動もまた久しぶり。淡路を越え、明石大橋を越えて西宮に入る。

脳梗塞で倒れ入院中になくなった妹。納骨式、遺骨となった妹と会った。涙が止まらない。様々な複雑な思いを抱えたまま、Kさんの誕生日でもあるこの日、妹の前で誓った。

「今日で70歳。70の7をとって、ゼロからスタートします」

旅行を通じて感じたこと
 1. 最初は不安があったが、川本様の手配で、安心して参拝することができた。
 2. これを子孫に伝えておきたいと思っております。
 3. 家内もとても喜んで、また旅行に行きたいと思っております。
 4. 細やかな配慮とスケジュールは、とても良かったです。
 5. 生男のことが、とてもうれしく、感謝が尽きません。
 6. 本当に有難うございました。感謝しております。

担当者コメント

様々な想いを乗り越え、久しぶりに対面した妹の前での、言葉なき決意。その決意が、また新たな旅を作っていくような気がしました。

介護度 要介護 4

年齢 70 歳

行先 兵庫県西宮市

同行 エスコートヘルパー 1 名
ボランティア 3 名

時間

行程

8:30	エスコートヘルパーがお迎え
8:50	ご自宅出発／階段をおります
11:20	墓地に到着
	納骨式
12:00	墓地を出発
12:30	甥子様宅に到着
15:15	トイレ／淡路ハイウェイオアシス休憩
18:00	ご自宅に到着
	スタッフが片づけ等のお手伝い
	スタッフ 3 名が 4 階に上がるお手伝い

